

為替、通貨、財政政策への提言

令和6年5月7日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

低金利は、通貨流通量の拡大と、金利格差における海外への資金の流出を与え、円安を形成する。これら為替と通貨の流動性は、グローバリズムにおける経済において、企業における環境変化とともに、経済の実像を与えるものである。

これらは海外におけるインフレスパイラルが、経済の拡大を与え、為替格差における経済力の拡大を与えるものである。

これらは如実な構造転換であり、グローバリゼーションとともに、世界経済の現実の転換を与える。

これらは企業経営における明確な判断と基準の転換が同時に存在し、これらはマクロ経済における構造転換とともに現実の変化を与えるものである。

また新規国際発行に対して買い手がつかないことは、日銀における買い付けとともに、明らかな不安要因であり、これらは世界経済における信用の低下において等しく円安を与えるものである。

他方において知的集約産業が高い利益性とともに、新たなグローバルスタンダードの形成を世界に与えているのである。

これらは明らかな世界経済の構造転換を現実であり、これらは想像に優る変化なのである。

国内における産業は、これらグローバル基準における経営を求められ、世界経済のグローバル化とともに、新しい事故への転換を明確に要求されているのである。

これら大きな変化は社会に対してはるかに大きな影響を与えるものである。これらはまた、国内における経済政策が最も優れた理解と判断において要求されることを意味するものである。

グローバリズムの影響は、これら変化であり、企業がこれを否定することは不可能である。